地域再生計画

１　地域再生計画の名称

鳥取中部観光地域づくり推進計画

２　地域再生計画の作成主体の名称

倉吉市並びに鳥取県東伯郡三朝町、湯梨浜町、琴浦町及び北栄町

３　地域再生計画の区域

倉吉市並びに鳥取県東伯郡三朝町、湯梨浜町、琴浦町及び北栄町の全域

４　地域再生計画の目標

鳥取中部には、日本遺産登録された三徳山～三朝温泉、倉吉市の白壁土蔵群、はわい温泉及び、青山剛昌ふるさと館など、比較的外国人観光客の認知度が高い観光地以外にも、日本文化や食をテーマとした観光資源が点在しているが、外国人観光客が容易に訪れることができる受け入れ体制となっていない。

外国人観光客に人気の「温泉」、「自然・景勝地」、「漫画・アニメの縁の地」、「食」にあふれる鳥取県中部地域。これらの観光素材を繋ぎ、十分に生かし切ることにより、外国人観光客が心から「日本のおもてなし」を堪能できる世界的にも有名な観光地域として認識されるようになり、多くの観光客で賑わうことで様々な産業が活性化し、若者からお年寄りまで、文化を大切にしながら、ゆとりを持った生活を送ることができる「ふるさとの創生」を実現する。

【数値目標】

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年
①年間観光入込客数	2,300 千人	2,400 千人	2,500 千人	2,600 千人	2,700 千人
②年間宿泊客数	566 千人	583 千人	600 千人	617 千人	634 千人
③年間外国人宿泊客数	22 千人	26 千人	30 千人	34 千人	38 千人

※目標①、②については共通基準による統計に基づく数値（暦年）

５　地域再生を図るために行う事業

５－１　全体の概要

鳥取県中部圏域の行政機関、民間団体等が一体となり、ＤＭＯを中心に協働と連携によって広域観光連携施策に取り組み、観光地域づくりを推進する。

初年度は、２次交通対策として外国人観光客を主に実証実験により観光周遊ルート等の検証を行い、観光商品造成等を進めて翌年度以降の事業展開に繋げ充実させる。

また、地域それぞれの観光資源の掘り起しと磨き上げに努めて魅力を向上

し、さらにおもてなしの為の受入環境の整備により、国内外からの多くの観光客を集客することで圏域の幅広い分野の産業発展や雇用の創出、経済活性化に繋げる。

５－２　第５章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金【A3007】

１　事業主体

倉吉市並びに鳥取県東伯郡三朝町、湯梨浜町、琴浦町及び北栄町

２　事業の名称及び内容：２次交通整備による FIT 受入対応実験事業

本事業は、鳥取県・市町・広域連合（行政）と鳥取中部観光推進機構（ＤＭＯ候補法人）、及びハイヤー・タクシー協会（民間事業者）が連携して、２次交通整備によるインバウンド受入体制の強化や観光周遊ルートの開発を目指して実験事業を行うものである。

また、Wi-Fi ルーターのレンタルや多言語観光アプリ及び鳥取大学が開発したバスネット（鳥取県内の路線バス・鉄道を対象に、時刻表および乗り換え経路の検索が可能）の活用により更なる利便性の向上を図るため、これらの活用方法や QR コードを掲載した多言語案内表示パネル等を設置し、インバウンド受入体制の有効性等を検証して宿泊施設や観光施設との連携プラン等今後の旅行商品造成や２次交通整備に繋げるなど、観光客の受入体制を整えることで、ＤＭＯとして観光地域づくりを推進していくうえで必要な基盤整備を推進する。

３　事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

DMO を中心に官民が一体となって広域観光を推進する。これまで参画していなかった異業種との連携を深め、新たなビジネス展開を図る。

・医療機関、医療産業との連携：人間ドックと温泉を活用した保養プランの構築、工場見学ツアーの実施
・交通機関との連携：インバウンド周遊プランの運行
・貸衣装業との連携：和装での町歩き商品造成
・不動産業との連携：インバウンドゲストハウス運営

【地域間連携】

それぞれの地域観光資源の磨き上げと連携した観光商品づくりによって広域観光周遊ルートを形成し、観光客の滞在時間延長に繋げる事で相乗的な経済効果の向上を図る。

【政策間連携】
ＤＭＯを中心とした新たな事業展開による地域産業の活性化により、新規雇用の創出や移住者の確保を図るとともに、医療機関、医療産業との連携を活かして健康づくり推進に寄与する。

【自立性】
法人化と旅行業登録による積極的な収益事業の実施によって自主財源の獲得に努めるが、行政からの事業委託と職員雇用の為の一部負担は継続し、安定的な職員体制と事業運営の為の基盤整備を進め、将来的に自立化を目指す。

４　重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年
①年間観光入込客数	2,300 千人	2,400 千人	2,500 千人	2,600 千人	2,700 千人
②年間宿泊客数	566 千人	583 千人	600 千人	617 千人	634 千人
③年間外国人宿泊客数	22 千人	26 千人	30 千人	34 千人	38 千人

※目標①、②については共通基準による統計に基づく数値（暦年）

５　効果検証の方法、時期及び体制
関係者での内部検証の結果を踏まえ、各市町において地方創生推進会議等の外部有識者会議及び議会等で平成 29 年 6 月に検証を実施する。またＰＤＣＡサイクルの実施により今後の事業展開や有効な施策に反映させる。検証結果についてはＨＰ等で公表する。

６　交付対象事業に要する費用
地方創生推進交付金【A3007】
・総事業費 91,552 千円

７　事業実施期間
地域再生計画認定の日から平成 33 年 3 月 31 日（5 ヵ年度）

８　その他必要な事項
なし

５－３　その他の事業
５－３－１　地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

５－３－２　支援措置によらない独自の取組

DMO を核とした鳥取中部広域観光振興事業（地方創生加速化交付金）

【事業概要】

（ア）DMO 観光地域づくり連携事業

○鳥取県中部圏域１市４町の行政機関、民間団体等が一体となって鳥取県中部圏域版ＤＭＯの体制を充実･強化させながら、協働と連携により圏域が一体となった広域観光振興施策を推進することで、圏域内の交流人口の拡大や産業振興等による雇用創出につなげ、地域経済の活性化と人口減少に歯止めをかける。

○広域観光連携事業として、「おもてなし・受け入れ環境整備事業」、「情報発信事業」、「温泉地イメージ戦略事業」、「プロモーション事業」、「商品開発販売事業」、「誘客戦略事業」を実施。

○地域の特性を活かした外国人に特化した誘客事業など海外旅行客誘致推進への取り組みとして「ＷＴＣ（ワールドトレイルズカンファレンス）鳥取大会」、「インバウンド版名探偵コナン鳥取ミステリーツアー」等、様々な主体が連携した事業を実施。

○（一社）鳥取中部観光推進機構がＤＭＯとして戦略的なマーケティングと、観光地域づくりの取り組みを加速させ、継続・発展していくことで、将来的には推進機構の運営と地域観光産業が行政からの支援に頼ることなく自立した事業展開を目指す。

（イ）賑わい拠点による人の流れ創出事業

　圏域の中核市である倉吉市は広域観光周遊ルートの形成を行い、ルートや集客の拠点となる打吹地区へ人の流れをどう創り出すか観光客のニーズ分析を基に関係者の合意形成による戦略づくりと、観光･交流の拠点となる施設整備の支援、回遊性向上につなげる空き家活用のコーディネートを倉吉市の負担において実施し、国内外からの観光客を集客する。

【実施主体】

倉吉市並びに鳥取県東伯郡三朝町、湯梨浜町、琴浦町及び北栄町

【事業期間】

平成 28 年４月から平成 29 年３月まで

６　計画期間

地域再生計画認定の日から平成 33 年 3 月 31 日（5 ヵ年度）

７　目標の達成状況に係る評価に関する事項

７－１　目標の達成状況に係る評価の手法

各年度関係者での内部検証の結果を踏まえ、各市町において地方創生推進会議等の外部有識者会議及び議会等で検証を実施する。

７－２　目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

各年度６月議会等の開催時期に併せ、以下の指標の達成状況について評価を行う。

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年
①年間観光入込客数	2,300 千人	2,400 千人	2,500 千人	2,600 千人	2,700 千人
②年間宿泊客数	566 千人	583 千人	600 千人	617 千人	634 千人
③年間外国人宿泊客数	22 千人	26 千人	30 千人	34 千人	38 千人

※目標①、②については共通基準による統計に基づく数値（暦年）

７－３　目標の達成状況に係る評価の公表の方法

各年度、各市町ＨＰ等で公表する。